

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【公開番号】特開 2012-125568 (P2012-125568A)

【公開日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-026

【出願番号】特願 2011-268453 (P2011-268453)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 0 W

G 0 1 T 7/00 A

A 6 1 B 6/03 3 7 3

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 11 月 27 日 (2014.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第一の複数の検出器モジュール (92) を含む第一の側区画 (130) と、
 第二の複数の検出器モジュール (92) を含む第二の側区画 (134) と、
 第三の複数の検出器モジュール (92) を含んでおり、チャンネル方向に前記第一及び第二の側区画 (134) の間に配置されている第三の区画 (122) と
 を含む曲線型検出器アセンブリ (86) と、
 第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (88) と、
 X 線源 (74) から X 線透過方向に前記曲線型検出器アセンブリ (86) へ向けて発散する X 線を受光しないように前記曲線型検出器アセンブリ (86) の前記第三の区画 (122) を遮断するために、第一の位置において前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (88) を整列させるように構成されている第一の検出器装着構造 (90) と
 を備えた X 線検出器アセンブリ (84) 。

【請求項 2】

前記第一の検出器装着構造 (90) は、前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (88) を前記第一の位置と第二の位置との間で移動させることを可能にするように構成されているガイド・レールを含んでおり、
 前記第二の位置にあるときには、前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (88) は、前記 X 線源 (74) から前記 X 線透過方向に発散する X 線が当該第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (88) を通過せずに前記曲線型検出器アセンブリ (86) の前記第三の複数の検出器モジュール (92) に入射するように、前記曲線型検出器アセンブリ (86) の前記第三の区画 (122) との整列を外される、請求項 1 に記載の X 線検出器アセンブリ (84) 。

【請求項 3】

第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (144) と、
 前記 X 線源 (74) から発散して前記 X 線透過方向に前記第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器 (144) を通過する X 線が前記第一のフラット・パネル・デジタル

投影検出器（８８）に入射するように、第一の位置にある前記第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器（１４４）を前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器（８８）及び前記曲線型検出器アセンブリ（８６）の前記中央区画と整列させるように構成されている第二の検出器装着構造（１４８）とをさらに含んでいる請求項 1 または 2 に記載の X 線検出器アセンブリ（８４）。

【請求項 4】

前記第二の検出器装着構造（１４８）は、前記第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器（１４４）を前記第一の位置と第二の位置との間で移動させることを可能にするように構成されているガイド・レールを含んでおり、

前記第二の位置にあるときには、前記第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器（１４４）は、前記 X 線源（７４）から前記 X 線透過方向に発散する X 線が当該第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器（１４４）を通過せずに前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器（８８）に入射するように、前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器（８８）との整列を外される、請求項 3 に記載の X 線検出器アセンブリ（８４）。

【請求項 5】

所与のエネルギー帯の範囲内で X 線を濾波するように選択される X 線減弱材料を含むノッチ・フィルタ（１５０）をさらに含んでいる請求項 1 乃至 4 のいずれか に記載の X 線検出器アセンブリ（８４）。

【請求項 6】

前記ノッチ・フィルタ（１５０）は、前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器（８８）と前記第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器（１４４）との間に配置される、請求項 5 に記載の X 線検出器アセンブリ（８４）。

【請求項 7】

前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器（８８）は高エネルギー X 線を吸収するように構成されており、

前記第二のフラット・パネル・デジタル投影検出器（１４４）は低エネルギー X 線を吸収するように構成されている、請求項 3 に記載の X 線検出器アセンブリ（８４）。

【請求項 8】

前記曲線型検出器アセンブリ（８６）の前記複数の検出器モジュール（９２）は前記チャネル方向に約 16 mm の幅を有しており、

前記第一のフラット・パネル・デジタル投影検出器（８８）は前記チャネル方向に約 20 cm の幅を有している、請求項 1 乃至 7 のいずれか に記載の X 線検出器アセンブリ（８４）。